

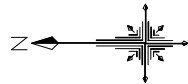
地区別事業概要

事業名	農業競争力強化農地整備事業 農地整備事業		地区名	ねもと 根本
関係市町村	茨城県 ひたちのおみやし 常陸大宮市		事業主体	茨城県
事業目的	本地区は、茨城県北西部の常陸大宮市に位置し、地区の東側を一級河川久慈川が流れる農業地帯であり、水稻を中心とした営農が展開されている。 しかし、区画は10a程度の小区画であり、農道の幅員は2m未満と大型機械の導入が難しい状況であり、用排水路は老朽化が進み、水管理や維持管理に多大な労力を要している。このため、作業効率が悪く、担い手のさらなる規模拡大の支障となっている。 本事業により区画整理による大区画化や道路、用排水路を整備することで生産性の高い優良農地を確保するとともに、農業の生産性の向上を図り担い手への農地集積を図り本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	46ha	153戸	1,097百万円	令和4～10年度
	主要工事	区画整理 46ha		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	1,521百万円	1,249百万円	1.21	総費用総便益方式
概要図	別添のとおり			

出典：根本地区土地改良事業計画概要書（茨城県農林水産部農村計画課作成）

概 要 図

農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業） 根本地区



県内位置図



凡 例	
配 色	種 類
—	地区界
—	支線道路 (As)
—	支線道路 (敷砂利)
—	現況道路
—	現況主要道
—	計画予定市道
—	排水路 (開水路)
—	排水路 (管路)
—	用水路 (管路)
—	地区外からの用水路
—	岩崎江堰用水
→	流水方向
—	現況排水路
—	ほ区内境界
—	畑
—	水田
—	ライスセンター
—	高圧鉄塔

地区別事業概要

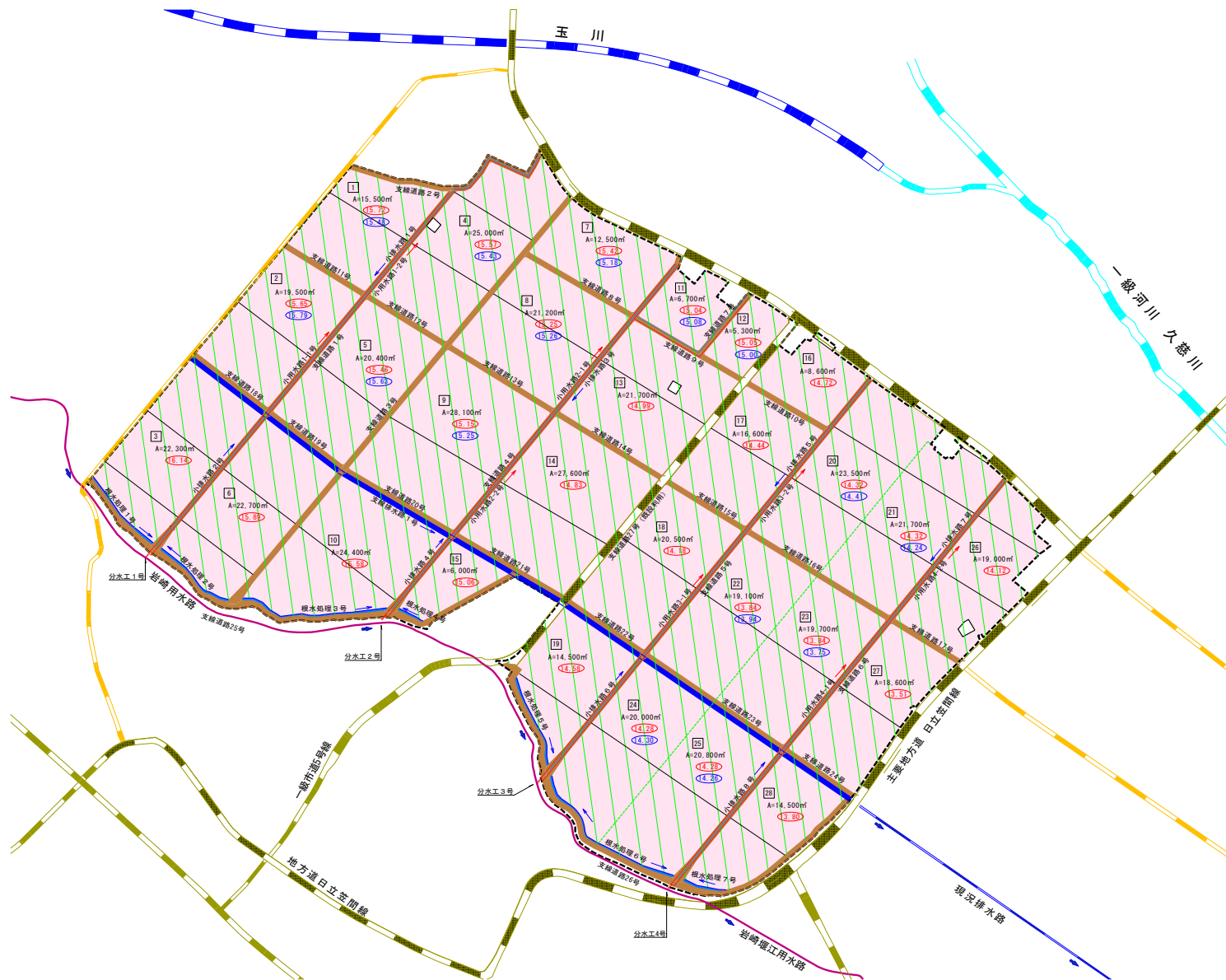
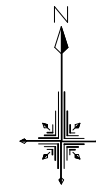
事業名	農業競争力強化農地整備事業 農地整備事業		地区名	瓜連 ^{うりづら}
関係市町村	茨城県那珂市 ^{なかし}		事業主体	茨城県
事業目的	本地区は、茨城県那珂市の北西部に位置し、久慈川流域の低平地に広がる農業地帯であり、水稻を中心とした営農が展開されている。 これまでに地区内では、担い手への農地集積が進み経営規模の拡大が進んでいるが、現況の水田区画は 10a 程度であり、農道も狭小であることから、大型機械導入の妨げとなっており、効率的な営農の妨げとなっている。また、用排水路の多くが土水路のため水管理や維持管理に多大な労力を費やしているとともに、漏水等により、農業用水の確保に支障が生じるなど営農に支障をきたしている。 このため、本事業により区画整理による大区画化や道路、用排水路を整備することで生産性の高い優良農地を確保するとともに、農業の生産性の向上を図り担い手への農地集積を図り本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	52ha	180 戸	1,214 百万円	令和 4～10 年度
	主要工事	区画整理 52ha		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	1,953 百万円	1,493 百万円	1.30	総費用総便益方式
概要図	別添のとおり			

出典：瓜連地区土地改良事業計画概要書（茨城県農林水産部農村計画課作成）

計 画 概 要 図

農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業） 瓜連地区

県内位置図



凡 例	
	区 画 整 理
	排水路(開水路)
	根 水 処 理
	排水管(管路)
	道 路
	畦 畔
	現 況 主 要 道 路
	現 況 道 路
	現 況 排 水 路
	現 況 排 水 路
	地 区 界
	暗 渠 排 水
	用 水 管 (管 路)

計画高
 現況平均高

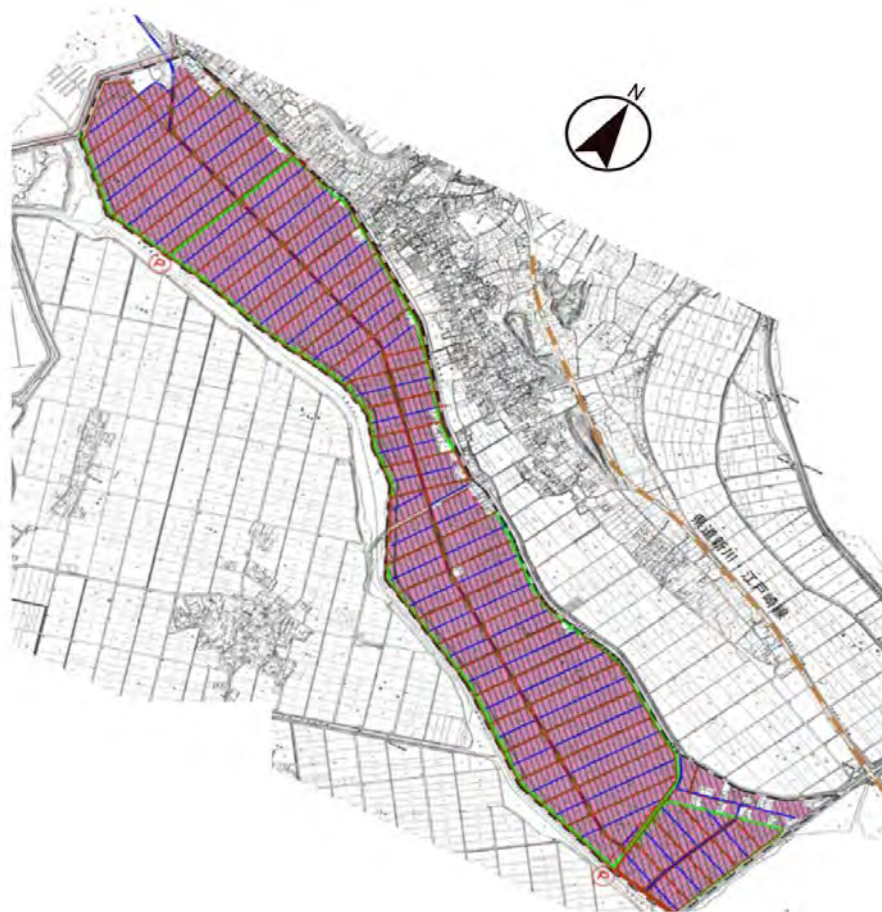
地区別事業概要

事業名	農業競争力強化農地整備事業 農地整備事業		地区名	野田奈川 ^{の だ な が わ}
関係市町村	茨城県稲敷市 ^{いなしきし}		事業主体	茨城県
事業目的	本地区は、茨城県稲敷市の北東部に位置し、霞ヶ浦流域の低平地に広がる農業地帯であり、れんこんによる労働集約型の営農が展開されている。 本地区の農地は、昭和7年から29年に干拓事業において10a区画に整備されたが、農道のほとんどが有効幅員1.8m程度と狭く、末端用水路と排水路が土水路であるなど、営農作業や水管理に多大な労力を費やしていることに加え、地下からの塩分遡上による塩害により収量が低下しており、営農に支障をきたしている。 このため、本事業により区画整理、農道、用排水施設、暗渠排水を整備することで生産性の高い優良農地を確保するとともに、農業の生産性の向上を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	136ha	264戸	4,946百万円	令和4～13年度
	主要工事	区画整理 136ha		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	12,726百万円	5,472百万円	2.32	総費用総便益方式
概要図	別添のとおり			

出典：野田奈川地区土地改良事業計画概要書（茨城県農林水産部県南農林事務所作成）

概 要 図

農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業） 野田奈川地区



県内位置図



凡例

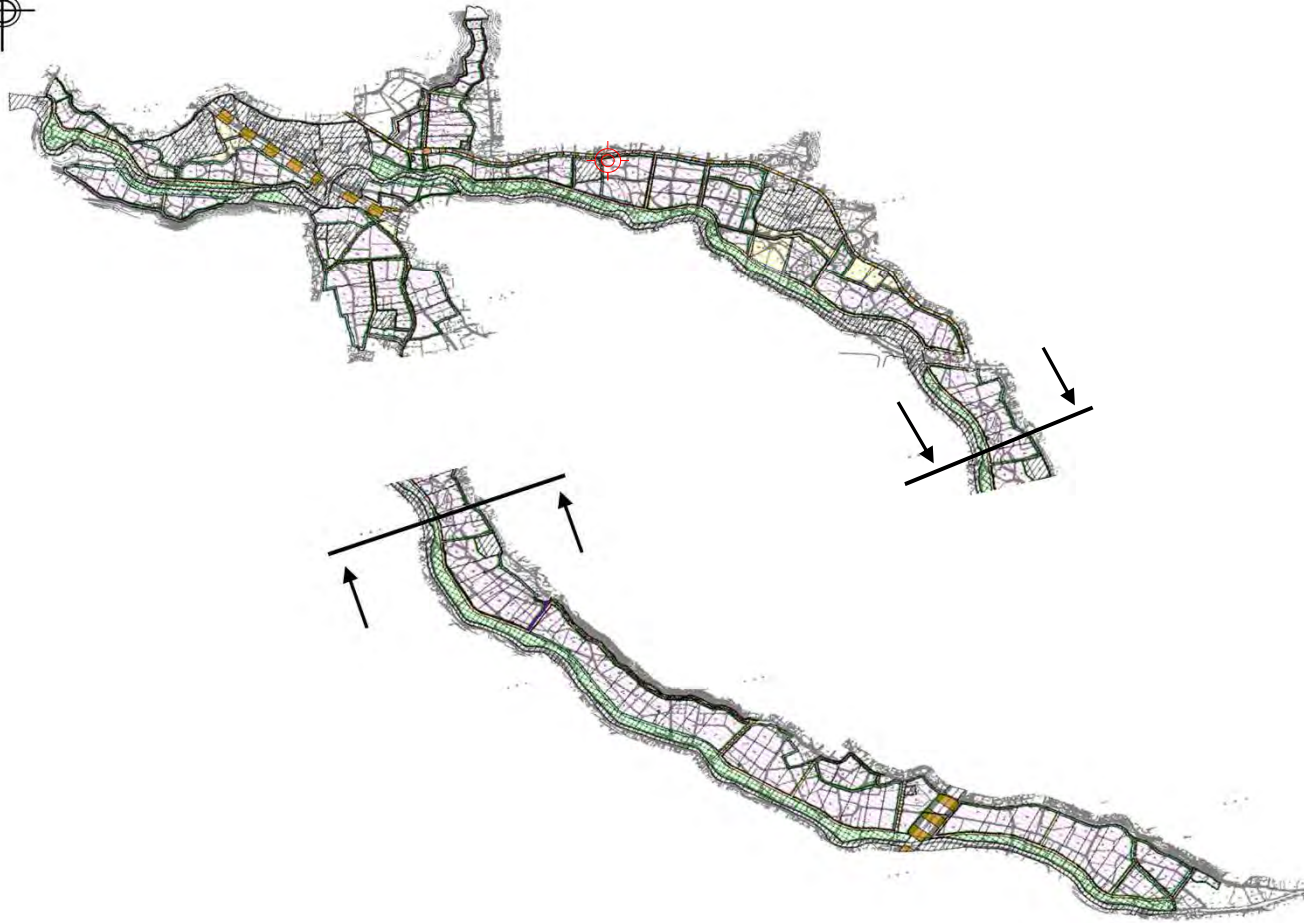
— — —	地 区 界
	現況主要道路
	現況中央排水路
	計画用水路(パイプライン)
	計画用水路(パイプライン)
	計画小排水路
	計画支線道路
	計画水田ほ区
	計画暗渠排水
	計画用水機場

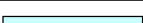
地区別事業概要

事業名	農業競争力強化農地整備事業 農地整備事業		地区名	千渡 ^{せんど}
関係市町村	栃木県鹿沼市 ^{かぬまし}		事業主体	栃木県
事業目的	本地区は、栃木県鹿沼市の東部に位置し、一級河川武子川流域の農業地帯であり、一部高台で果樹の栽培があるものの、個人経営による水稻を中心とした営農が展開されている。 現況の水田区画は10～20a未満で地形勾配1/120程度の一筆毎の田差が比較的大きい未整備区域であり、農道も狭小であることから、大型機械導入の妨げとなっており、効率的な営農の妨げとなっている。また、用排兼用の土水路等により水管理や維持管理に多大な労力を費やしているとともに、漏水等により、農業用水の確保に支障が生じるなど営農に支障をきたしている。 このため、本事業により区画整理による大区画化や、農道の幅員確保、用排水路や暗渠排水を整備することで生産性の高い優良農地を確保し、併せて新技術を導入し営農コストや維持管理を低減し農業の生産性の向上を図ることで担い手への農地集積を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	59ha	138戸	1,526百万円	令和4～11年度
	主要工事	区画整理 59ha		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	1,800百万円	1,394百万円	1.29	総費用総便益方式
概要図	別添のとおり			

出典：千渡地区土地改良事業計画概要書（栃木県農政部農地整備課作成）

干渡地区



凡 例	
幹 線 用 水 路	
小 用 水 路	
支 線 排 水 路	
小 排 水 路	
既 設 用 排 水 路	
支 線 道 路	
揚 水 機	
田	
畑	
非 農 用 地	
暗 渠 排 水	
地 區 界	

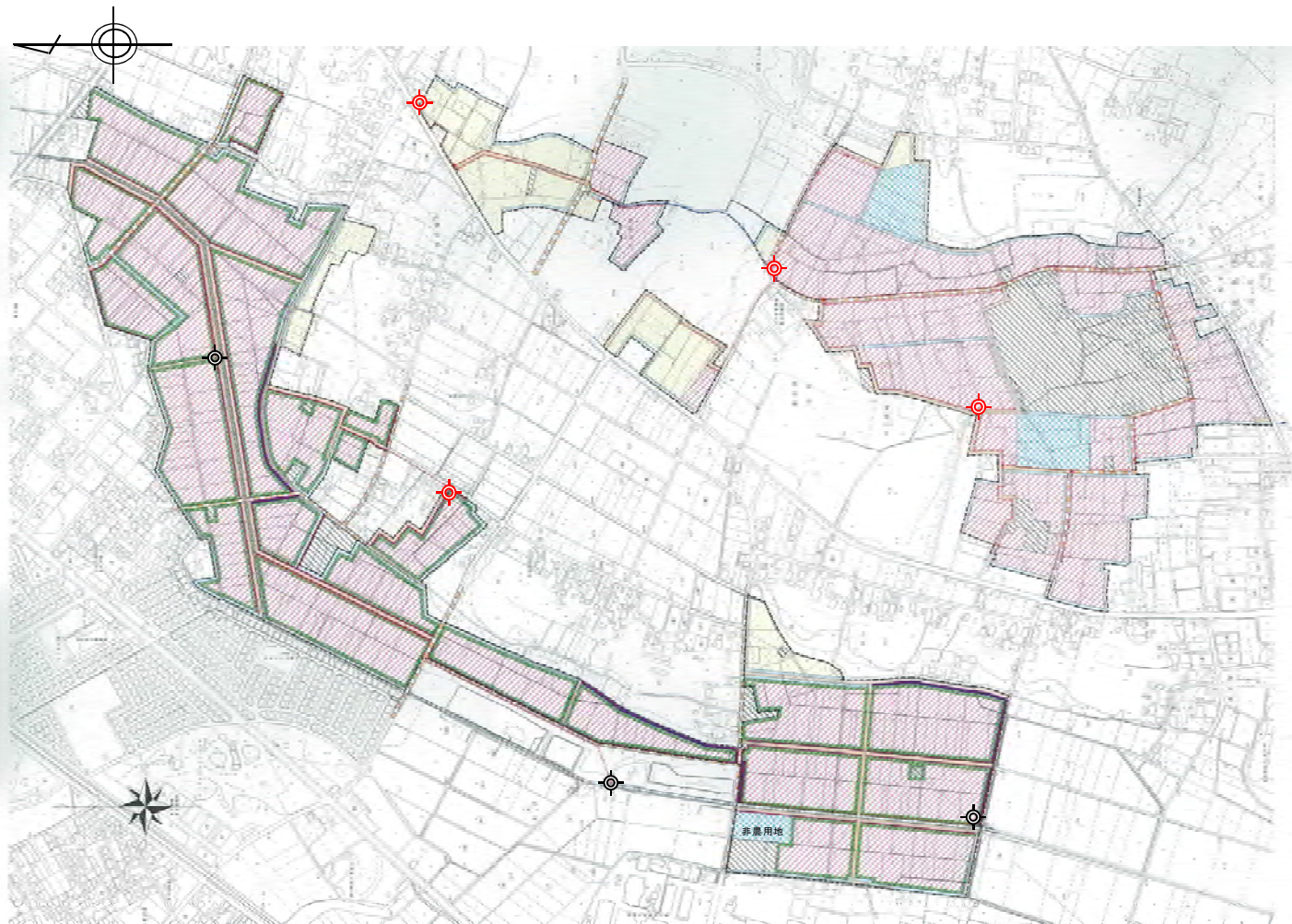
地区別事業概要

事業名	農業競争力強化農地整備事業 農地整備事業		地区名	なかや 中谷
関係市町村	栃木県 しもつがぐんのぎまち 下都賀郡野木町		事業主体	栃木県
事業目的	本地区は栃木県野木町の南部に位置し、思川流域に広がる農業地帯である。水稻を中心に二条大麦を組み合わせた営農が展開されている。 本地区は、用排水路が用排兼用で老朽化が進み、水管理や維持管理に多大な労力を費やしている。また、地区西部の水田地帯は土壌に軟弱帯が存在し、水田の汎用化や大型機械の導入が進まず、土地利用型農業の展開に支障が生じている。 このため、本事業により区画整理による大区画化や道水路を整備することで生産性の高い優良農地を確保するとともに、ICT を活用した自動給水栓の設置により農業の生産性の向上及び担い手への農地集積を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	71ha	118 戸	1,849 百万円	令和4～10年度
	主要工事	区画整理 71ha		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	1,994 百万円	1,746 百万円	1.14	総費用総便益方式
概要図	別添のとおり			

出典：中谷地区土地改良事業計画概要書（栃木県農政部農地整備課作成）

概要図

農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業） 中谷地区



県内位置図 -



凡例

用水路	
小用水路(管路)	
支線排水路	
小排水路	
既設用排水路	
支線道路	
(新設)揚水機	
(既設)揚水機	
田	
畑	
非農用地	
暗渠排水・客土	
地区界	